

スプリンクラーヘッド地震により損壊する

神戸ベイシェラトンホテル&タワーズ

1 設備の被害状況

地震の発生で、8階及び14階の通路部分のスプリンクラー設備のヘッドがその衝撃により破損し、合計4個のヘッドから30分間にわたって約50トンの水が放出された。その消火用水の放出により、5～8階と12～14階の通路部分が水びたしとなったが、大半の水は自然に排水されたため、被害は大きくなかった。

スプリンクラー設備の消火用水の放出により自動火災報知設備の感知器内に水が浸入し、非火災報が発生した。その他は避難階段、防火戸とも地震による被害はなかった。

2 関係者の初期対応

防災センターでスプリンクラー設備の起動の警報を確認した警備員2名は、該当するフロアに直行し、ヘッドが破損した系統のアラーム弁のバルブを閉鎖した。さらに、6～21階のスプリンクラー設備のアラーム弁の閉止より未警戒となったため、警備員による巡回を強化した。その後、2月10日にスプリンクラーヘッドを取り替えて全面的に復旧した。また自動火災報知設備の水損による不良箇所については、2月5日に完全に復旧した。

3 教訓

スプリンクラー設備の破損と停電が同時に起こることを想定していなかったために、事後の処理が遅れ、館内の一部で水損が生じた。今後、誤放射が生じた時はアラーム弁を早期に閉止する必要がある。